

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第11回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成25年9月2日（月） 14時から

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：
越野教授室、昭和大学：1号館505号室、金沢電子出版株式会社 株式会社ピコラボ

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師（北海道医療大学）、美島
教授、片岡教授、乾（昭和大学）
佐藤様（金沢電子出版株式会社）、鈴木様（株式会社ピコラボ）

————— 議 事 内 容 —————

1) 昭和大学9月の授業実施に向けての準備

9/10の授業に関しては、現在教材のIT化を進めている。9/17以降の授業については、
教材の最終的な検討を行っており、近日中にe-learning化を金沢電子出版に依頼する
予定である。

2) 北海道医療大学9月の授業実施に向けての準備

9月27日(金)10:30～ 80分(1コマ)

10月18日(金)15:40～ 80分(1コマ)

上記の2コマの授業に関しては、教材の内容は確定し、現在e-learning化を金沢電子
出版で行っている。合わせて金沢電子出版の支援を受けて学生登録、教員登録も行っ
ている。

3) 第3回ITを活用した教育センター ワークショップについて

(1) スケジュール案について 別添資料1

(2) ポスターについて 別添資料2

(3) 講演会ならびに懇親会について

1. Glenn Clark 講演会 11月20日 17時から

How well does a Virtual Patient work to improve a students' clinical reasoning
skill?

2. Roseann Mulligan 講演 11月21日 11時20分から

How to teach about the management of dry mouth and burning mouth syndrome
to dental students?

3) 教育プログラム検討委員会のメンバーについて

大学教員、事務担当者に関しては変更はないが、歯科医師会担当者に関しては確認を
する。

4) 到達度評価委員会のメンバーについて

本委員会に出席するために、ワークショップに出席してもらうのは無理がある。しか
しワークショップ参加者が本委員会にも入ると、妥当な評価が難しくなる可能性があ
る。そこで、スカイプなどで会議を行うことを検討し、初代のメンバーに継続をして
もらえるか確認する。歯科医師会館などでもスカイプ会議ができるように整備をする。

5) ワーキンググループ3と4の役割分担について

(1) WG3：脳梗塞の発症、入院から退院までを主に担当し、急性期病院における多職種連携および口腔のケアを学ばせる。

(2) WG4：脳梗塞患者の退院後の在宅歯科医療を中心に学ばせる。

6) ワーキンググループ2の教材作成と授業時期について

WG2では、高血圧患者が歯科治療中に狭心症様発作を起こしたという想定で、ビデオを含む e-learning 教材を作成し、今年度昭和大学麻酔科担当の授業で使用する予定である。また、来年4月に昭和大学歯学部3年生に全身の疾患を学ぶ動機づけ用の教材として用いる予定である。

7) その他

(1) ITを活用した教育センターの業務・運営について

1. 3連携校で作成したIT教材は「教材プール」に入れる。
2. 各大学は対象学年、授業スケジュールに応じて、「教材プール」から教材を選び、授業用IT教材を作成する。(責任者：各大学授業責任者)
3. それぞれの大学における授業は、各大学が責任を持って運営する。(責任者：各大学教務部，授業責任者) *
4. 授業終了後、アンケート結果、正答率の情報は各大学が教育センターに送付し、教育センターが集計する。**
5. 上記の作業が円滑に行えない場合は、教育センターに連絡する。教育センターは必要に応じて、IT業者に支援をお願いする。

* 学生登録、教員登録は各大学で責任を持って行う。登録方法などが不明な場合は教育センターに連絡をする。教育センターはIT業者に説明をお願いする。

** 教育センターに送付する場合は、学生名は削除し、出席番号のみとする。

(2) IT教材作成の流れ (別添資料3)

以上



ITを活用した 超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成



文部科学省 大学間連携共同教育推進事業 第3回ITを活用した教育センターワークショップ スケジュール

■開催日:11月21日(木)

■場 所: 昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

時間	テーマ	実施方法	場所	担当	備考			
10:45～11:00	集合・受付		1号館7階講堂					
11:00～11:20	開会式(学部長 挨拶, 自己紹介) WSの概要とスケジュール	全体会		片岡				
11:20～12:20	“How to teach about the management of dry mouth and burning mouth syndrome to dental students?”	講演	1号館6階会議室	片岡				
	口腔乾燥症や舌痛症の診断治療を学生にどのように教育するか?	Prof. Roseann Mulligan: (南カリフォルニア大学 歯学部 教授)						
12:20～13:10	昼食・ディスカッション・委員会開催		・教育プログラム委員会 …5階カンファランス室 ・到達度評価委員 …5階小会議室 ②					
13:10～13:50	3連携大学3年生に対するIT教育の実施とその成果	全体会	1号館6階会議室	城				
		城・越野・片岡						
14:00～17:00	3・4年生に対するITを活用した教育を考える VP教材の概要 ・グループ1: 口腔乾燥症 ・グループ2: 基礎疾患を有する患者の歯科診療 ・グループ3: 地域におけるチーム医療 ・グループ4: 地域におけるチーム医療	グループ討議	1号館6階会議室	馬場 菅沼 越野				
						発表、討議	1号館6階会議室	越野
						発表5分、討議4分		
						17:00～17:50	発表、討議	1号館6階会議室
17:50～18:10	閉会式、写真撮影、アンケート	全体会	1号館6階会議室	片岡				
18:20～19:30	懇親会		昭和大学病院入院棟17階 タワーレストラン昭和					

■開催日:11月20日(水)

■場 所: 昭和大学 旗の台校舎 1号館7階講堂

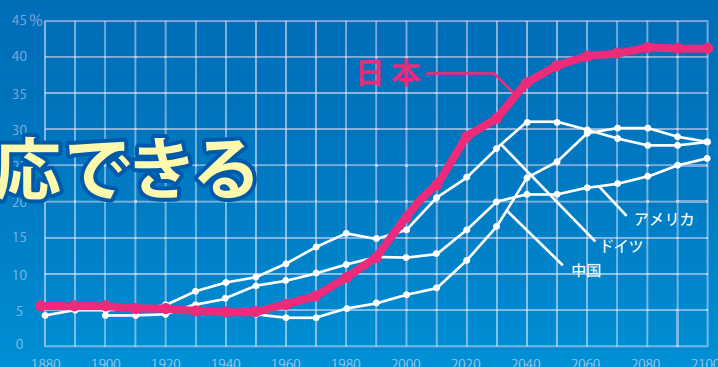
17:00～18:00 Prof. Glenn Clark (南カリフォルニア大学)講演

“How well does a Virtual Patient work to improve a student’s clinical reasoning skills?”
「VP(バーチャルペーシェント)は学生の臨床推論能力をどのように向上させるのか？」

18:00～ 懇親会

ITを活用した 超高齢社会の到来に対応できる 歯科医師の養成

65歳以上人口比率の長期推移・将来推計



第3回

ITを活用した 教育センターワークショップ

日時 平成25年 **11月21日(木)** 11時～18時(予定)

場所 昭和大学 旗の台校舎 1号館 6階会議室

参加者 3連携大学と関連歯科医師会から約50名

■ ワークショップの概要

昭和大学 北海道医療大学 岩手医科大学とそれぞれの地域の歯科医師会が連携し、超高齢社会の到来に対応できる歯科医師を養成するためのIT教材を作成しています。

本取組みで作成した教材を連携校の3年生の授業で活用しました。教材の改良を図るとともに4年生用のVirtual Patient (VP)を活用したIT教材の作成をはじめます。

- 1 口腔乾燥症
- 2 基礎疾患を有する患者の歯科診療
- 3 地域における歯科医療

について各ワーキンググループが、3年生の教材の改良と、4年生の教材の作成を行います。

講演：

11月20日(水) 17時～ 昭和大学旗の台校舎 1号館7階 講堂

Glenn Clark 教授 University of Southern California 南カリフォルニア大学

“How well does a Virtual Patient work to improve a students' clinical reasoning skills?”

「VPを活用した臨床推論教育について」※和英対照配布物あり

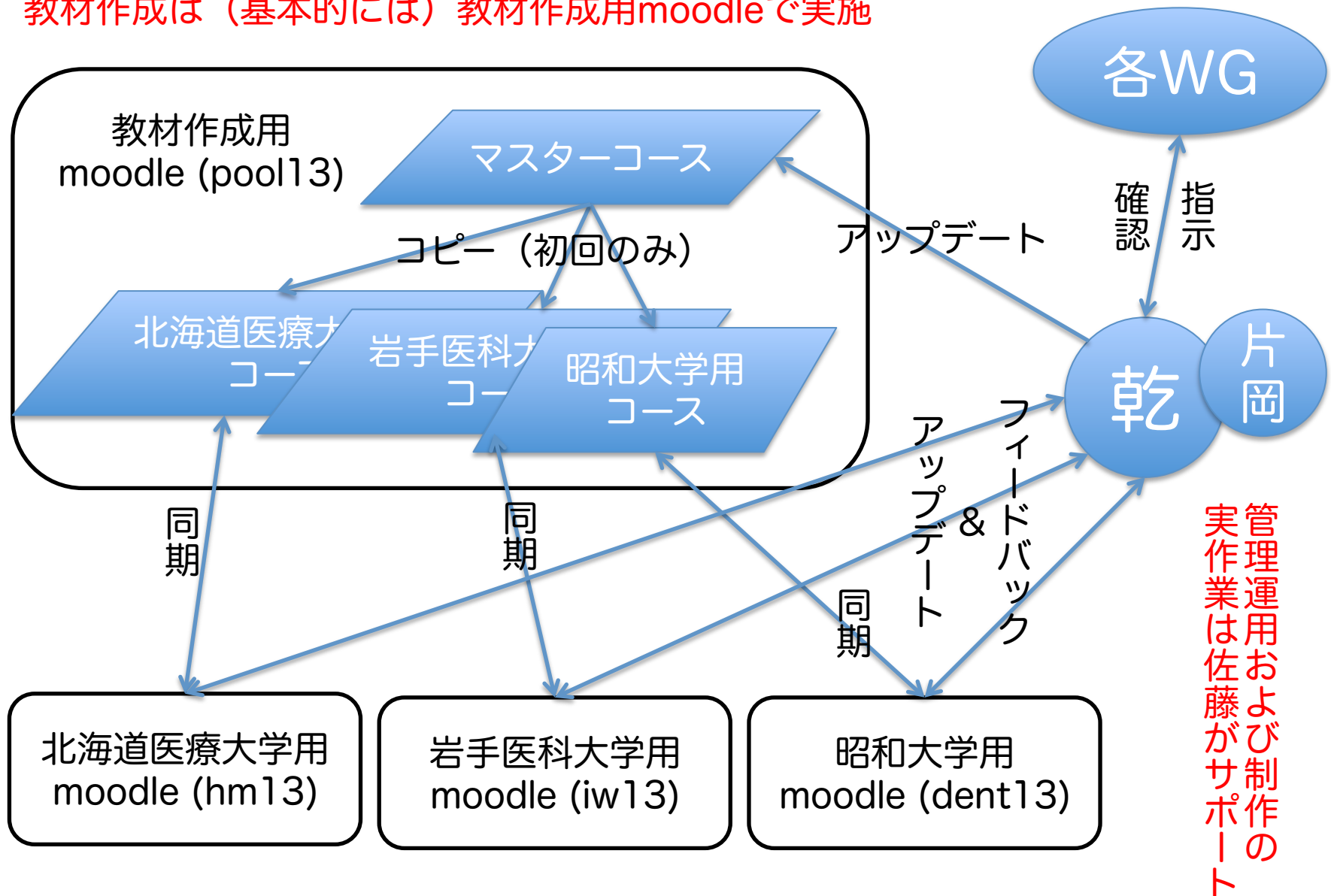
11月21日(木) 11時20分～ 昭和大学旗の台校舎 1号館7階 講堂

Roseann Mulligan 教授 University of Southern California 南カリフォルニア大学

“How to teach about the management of dry mouth and burning mouth syndrome to dental students?”

「口腔乾燥症と舌痛症の診断治療を学生にどのように教えるか」※逐次通訳あり

教材作成は（基本的には）教材作成用moodleで実施



各大学用のmoodleで授業実施およびフィードバック